

地方創生推進交付金
効果検証シート

事業名	Do It Ourselves 「リノベのいばらき」プロジェクト				
担当課	部名	企画財政部	課名	政策企画課	
目的	人口減少社会の中で、本市が持続可能な確かな未来を実現するためには、定住人口、交流人口のみではなく、市民が社会活動や経済活動、生産活動などのまちづくりにおける様々な場面で活躍、活動する「活動人口」を増加する必要がある。そこで、「リノベーション（DIY）工房」を拠点に、「リノベのいばらき」プロジェクトを実施することにより、他の世代と比べて、特に社会活動の参加割合が低い20～30代の女性に、「楽しく」活動してもらう場を提供し、「活動人口」の増加を図ることでまちの持続的発展をめざす。				
事業内容	「リノベーション（DIY）工房」となる空家・空き施設に基本的改修工事を行いつつ、市民や学生との連携による参加型ワークショップを実施し、DIYによる工房のリノベーションを行う。また、イベントの実施や雑誌、WEB活用による情報発信、ブランディング戦略の立案を行うなど、広報業務を進め、活動人口増加に向けた参加の裾野拡充に努める。 DIY工房をオープンし、DIY講座、大学・学生との連携事業など各種事業をスタートさせる。また、里山センターとの連携も進め、里山保全の新しいモデルケースを模索する。さらに、空家改修ワークショップに向けた検討を進めるなど、空家問題に対する準備を進める。				
事業費	総事業費	24,971,760 円	交付金 充当額	12,485,880 円	
重要業績 評価指標 (KPI)	指標		指標値	目標年月	実績値
	活動人口（地域での社会活動・地域活動への参加）割合		39.9 %	30.3	44.6 %
	工房を利用等を通じて地域・社会・経済・生産活動などをしてみたいと考えた人の割合		50 %	30.3	55 %
	空き物件の改修件数		1 件	30.3	1 件
事業効果	③本事業は地方創生に効果があった				
	上記を選んだ理由	H29年度の取組内容として、活動の拠点となるDIY工房整備は、オープン前には解体、壁塗りワークショップ、イベントを実施、オープン後はDIYアドバイザーとのDIY体験、平成30年12月から3月の間に49回となる様々なミニワークショップを開催し、延べ600人を超える参加者があった。また、ブランドロゴを作成し、工房、特設サイト等に表記を行い、ブランディングの構築に努めた。 上記の取組等から収集したアンケート結果では、「楽しかった」と回答した割合が8割以上であり、かつ女性は7割以上が回答していることから、本プロジェクトのターゲットである女性、また目的である「楽しく」活動してもらう場の提供ができたことにより「活動人口」の増加を図る取組がスタートしたと言える。また、拠点となるDIY工房の整備を参加者とともにを行い、自らの手を加えてまちの価値を高めるといふ本プロジェクトの目的が実施されたことなどから、本事業は地方創生に効果があったと考える。			
事業の 今後について	②事業内容の見直し（改善）を行う（または、行った）				
	上記を選んだ理由	事業の今後について、以下3点について見直しを行う。 まず1点目は、工房の自走化に向けて収入を増加させるため、工房の1階の貸スペースの強化及び2階の活用について検討を行う。2点目は、DIYに意欲がある人の中からまちづくりへ参画する人材をより増やすため、キーパーソンの発掘及び人材グループの結成について取り組む。3点目は、DIY工房が気軽な場所として利用されるために商店街と連携や飲食等の利用が可能となるように活用を検討していく。			
外部有識者 からの評価	①本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった				
	上記を選んだ理由	<ul style="list-style-type: none"> ・自走化に向けて、様々なネットワークが構築できていることはよい。面白い展開ができるのではないかと期待する。 ・飲食店を展開することで、まちづくりへ参加するきっかけが様々な動機が生まれるのではないかと。 ・自走化に向けて、ビジネス感覚のある人とタッグを組むことが必要。収入を増やす方法として、DIYで稼ぐ方法について、アイデア出しをしてみてもどうか。 ・また拠点のみで実施するのではなく、出張型で実施してみてもどうか。 			